

モバイルコンピュータ “AMITY VP”

三浦敏広* 内村誠之*
 福永真剛*
 古内浩二*

要旨

最近、各種電子デバイスの小型・薄型・軽量化技術や高密度実装技術の発展によって、超小型のパソコンが製品化され、携帯電話やPHSなどの無線通信機器やデジタルカメラの普及が急速に拡大しており、ネットワークインフラの普及とともにモバイルコンピューティングが話題になっている。しかし、実際に企業が業務用途にモバイルコンピュータを導入するケースは決して多くないのが現状である。

三菱電機は、数年前からペンで入力できる入力機能の優れた小型コンピュータ“AMITY”^(注1)を開発して製品化してきており、大画面で軽量を特長にして、外勤営業業務を

中心に接客・店頭業務や保守点検業務などを支援する小型情報端末としてシステムを構築してきた。今年4月に新製品“AMITY VP”を発売開始し、実際に業務用途で企業が導入できる製品として期待している。適用業務の中では、外勤営業業務支援の用途が圧倒的に市場規模が大きい。

そこで、AMITY VPは、外勤営業マンやセールスレディが使いやすいモバイルコンピュータを目指して、屋外での画面の見やすさ、きょう(筐)体の強化、低コスト化、性能向上、ペンの入力性向上に注力して開発してきた。

ここでは、それぞれの項目に関する開発内容を紹介する。



三菱モバイルコンピュータ “AMITY VP”

最近、パソコン雑誌でも“ペン入力パソコンの代名詞”と表現されるなど、AMITY VPは携帯性と操作性で十分実用的なレベルに達したと言える。ハードディスクとバッテリーの容量が大幅に向上したことが最大の特長である。AMITYシリーズでは初めてテンキーを画面右横に設けて数値入力がより簡単になったこと、液晶画面がより美しく屋外で見やすくなったこと、当社独自の手書き文字認識ツールがより使いやすくなっていることなどが高く評価されている。